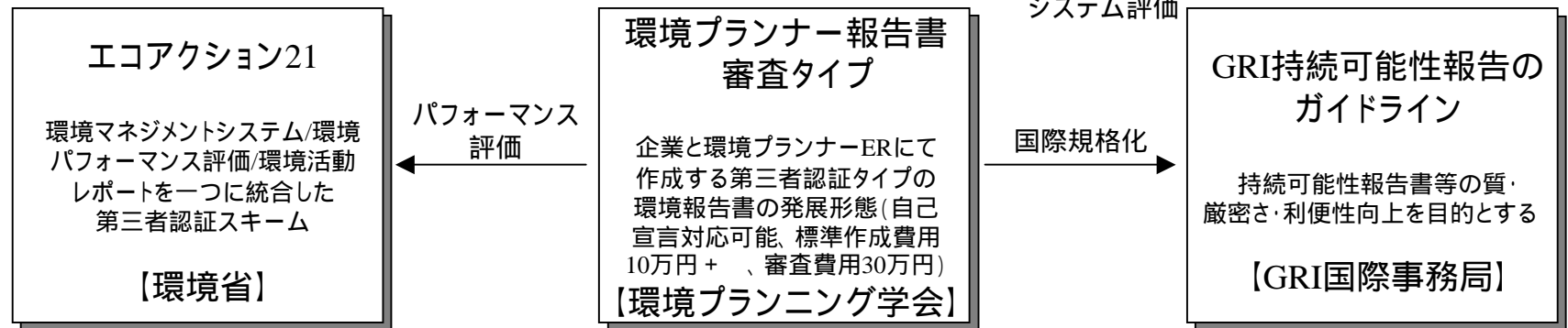


環境コミュニケーションの「いろは」の「い」にあたる環境プランナー報告書評価・勧告タイプ(簡単なYes or Noシートと会計数値の抽出により作成可能。全体を細かく評価する指標ではなく、環境取組みを加点評価。3~5年の評価の仕組みも併せ持つため経過評価・管理も可能。原理原則よりも実態に合わせられる)からエコアクション21又はISO14001等の認証取得とつなげることが可能。

また、環境プランニング学会における分科会・研究会制度によるフォローアップも整備されているため、環境取組みの推進を行う上で最適な導入口となっている。

なお、その発展形態とし、環境プランナー報告書審査タイプがあり、環境取組みの更なる促進及び環境取組みにより金融メリット等を楽しめる仕組みも併せ持っている。



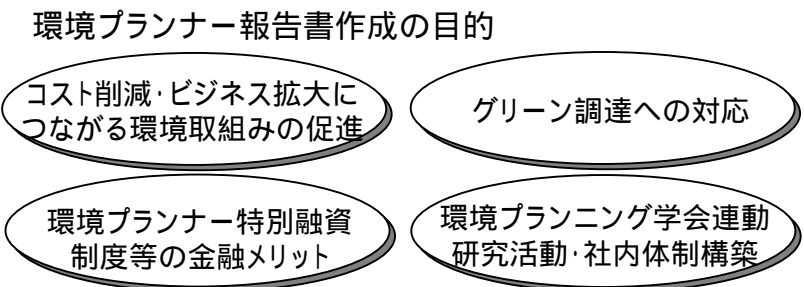
エコステージ(有限責任中間法人エコステージ協会)への移行も可能
移行
環境プランナー報告書
附属書記載内容による

**環境プランナー報告書
評価・勧告タイプ**

企業と環境プランナー-ERにて作成する環境報告書の基本形態(業種別対応可能、標準作成費用5万円+、学会Web掲載費用2万円)

【環境プランニング学会】

ステップアップ
審査タイプは環境プランナー報告書附属書記載内容及び数値を審査



環境プランナー報告書の特徴

- ・企業の環境取組みを、原理原則を大事にしながらも実態に合わせ加点評価。
- ・企業別、サプライチェーン別の指標対応可能。(3~5年の評価軸を併せ持つ)

環境プランナー報告書を推進普及する環境プランナー-ERは、環境省エコアクション21審査人制度の受験資格要件の一つとなっています。

環境プランナー資格制度は、環境省及び経済産業省の「環境保全活動・環境教育推進法」における人材認定等事業として認証登録されています。